

# 令和6年度第3回津島市スポーツ推進審議会議事録

日時 令和6年8月5日（月）

午前10時～午前11時

場所 津島市役所1階東会議室

出席者 審議会委員 鈴木一成会長、垣見信夫副会長、鈴木健嗣委員、  
大鹿泰当委員、内藤正和委員、服部聡宏委員、黒部美津子  
委員、林寛子委員、  
事務局 浅井教育長、湊上事務局長、中嶋次長、内原補佐、  
加藤主査、小栗主事  
(株)国際開発コンサルタンツ 伊藤氏、小村氏、染矢氏同席

## 1 あいさつ（浅井教育長）

皆さん、おはようございます。第3回津島市スポーツ推進審議会（以下「審議会」）に参集いただきましてありがとうございます。

パリオリンピックで日本人選手が活躍しておりますが、皆様どのようにお過ごしでしょうか。津島市からは、バスケットボールの山本選手が出場していません。私はパブリックビューイングで山本選手を応援しましたが出場の手がかりがなく、残念な結果となってしまいました。しかし私としては、パブリックビューイングの雰囲気を楽しむ良い機会となりました。

津島市のスポーツ推進のため、基本方針や施策展開、骨子案に加えてスポーツ推進計画のタイムスケジュールに、慎重なご審議を頂けるよう、よろしくお願いいたします。

## 2 議題

### (1) 津島市スポーツ推進計画の基本方針について

事務局 「第2回津島市スポーツ推進審議会議事録」と資料1「津島市スポーツ推進計画（仮称）（案）」に基づき説明。

委員 スポーツ少年団以外の子ども達を集めて、体験会を実施したが、子ども達が集まらずに、学童に声を掛け実施した。参加者を集めるだけで非常に大変だった。数値だけを追い求めるのは、苦勞するように思う。また、子どもの少子化のなか、「するスポーツ」や「みるスポーツ」の割合をあげるのは大変だと感じる。

事務局 指標 KPI、国の基本計画を元に数値を掲げた。目標を達成するための施策についても合わせて考えて頂きたい。

委員 実施率について、国の目標や諸外国と比較しても非常に高い目標とな

っている意図はあるのか。

事務局 国の目標では、令和8年に70%を目指している。その後は100%を目指している。これを踏まえ、年1%ずつ上げていく目標とした。

## (2) 津島市スポーツ推進計画の施策展開について

事務局 資料2「津島市スポーツ推進計画（仮称）（案）」に基づき説明。

委員 P42③学校体育・スポーツの充実。「学校体育をはじめ子どもを取り巻くスポーツ環境が変化しています。」とあり、2行目「このため、将来的に1つの学校や地域単体でのスポーツ活動の実施が困難となる。」また、4行目に「このため、複数での学校や地域との連携により、スポーツをする機会の確保を検討していきます。」とあるが、「このため」が連続し、「学校体育」がどこに掛かっているのか言葉のニュアンスがわからない。

事務局 学校体育は、あくまで学校単位を考えているため、そのような表現で整理する。

委員長 少子化や学校教員の不足など様々な課題がある中で、1つの学校と他の学校や地域との連携により学校のスポーツを充実させていくことも将来的にはありえるのではないか。ここでは、学校単位でスポーツの充実を図るのか、他校や地域と連携するのか、どちらを想定しているのか。

事務局 例えば、スポーツ少年団が1つの学校単位では成り立たないので、地域としてスポーツを行うというイメージはしている。一方で、学校複数で学校体育を行うことは考えていない。

委員 P39 施策体系の一覧にはきれいな言葉で書かれているが、P57・58には施設別の整備方針が掲載されている。実際どのぐらい先を見据えて新設・更新と書かれているのか、予算面などを含めて担保できるのか。「するスポーツ」の施策は「する環境」が整わないと実現できないものである。

事務局 「する・みる・ささえる」の環境が非常に大切だと認識している。市の予算だけではできないため、補助金や民間との連携を含めて実施することが前提となっている。期間については今後20年間で考えているが、前倒してできる部分は実施していく。場所については東公園を想定しており、資金調達ができるかどうかを含めて検討していく方向である。

委員 P40「つくるスポーツの推進の目標指標」は、令和16年度に最終目標が設定されているが、令和16年度までに、各スポーツ施設の更新・新設ができるのか。

- 事務局 市営のプールについても撤去・整備するため時間はかかると思うが、進めていく方向である。再度、その時期になれば審議会にて個別計画を議論して頂くが、スポーツ推進計画は基本理念や方向性を描くものと理解してほしい。
- 委員 スポーツの環境が整わなければ、机上の空論になってしまうように思う。総合体育館に錬成館の機能を導入すれば、錬成館は不要となる。その中身まで考えていかないと議論できない。
- 事務局 今回策定する「スポーツ推進計画」に基づき、施設整備の内容を検討していく。実現可能かは今後議論していく。
- 委員 市の現状をみると、施策をどれだけ実施できるのか、考えてしまうところがある。公共施設等適正配置計画において、総合プールが譲渡となっているページがあり、方針がずれているのではないか。
- 事務局 公共施設等適正配置の方針として、民間譲渡やPFI/PPPを検討する方向性が示されており、今回の計画でも民間活力を活用して検討していく方向であるので、方針がずれているというわけではない。
- 委員 スポーツ協会の活動の宣伝や周知がうまくできていないので、人が集まらない。運営側の高齢化が進んでおり、次の世代を担う方がどのようにやっていくのか心配である。
- 事務局 スポーツ協会などの団体の活動についても知ってもらえるように、情報提供を充実させていく方針である。
- 委員長 現実可能かというご指摘があるが、P53「つくるスポーツの前提」を記載できると良い。他団体・他施設との連携など、一見スポーツとは無関係と思われる団体・施設であっても活用していくことなどの基本的な考え方を記載できると良い。
- 事務局 具体的に推進していくための連携について、記載していきたい。
- 委員 P46「多様な主体と連携します。取り組みます。」と記載されているが、具体例が全く記載されていないことが気になる。市営球場についてベース板に穴が開いており、他チームを呼んで公式試合ができない。加えて、小石が飛ぶ危険性、時計も狂っているような環境となっている。具体的に何をいつやるのか、示してくれないと空論ではないのか。
- 事務局 絵や写真など未完成な部分が多々あるのはご指摘の通りである。具体的に進めていくためには、年次目標も定めてPDCAサイクルを回しながら実施していく。
- 委員長 日常的なメンテナンスについて具体的に何をやるのか、記載してもらえると具体性が出てくる。行政側が実施することばかりではなく、自分たちで草刈りをやるなど、市民や団体とも連携してやれることを記載してもらえると良い。

委員 藤浪中学校は体育館の修理してもらっても雨漏りが直らない状況である。このような状況のため、雨の日は練習や試合ができないような状況である。日々のことに目を向けてもらえるのであれば、学校体育施設のことも考慮してほしい。

事務局 学校施設についても考慮して進めていきたい。

委員 施策は良いが直すべきところを直さないとスタートできない。サッカーゴールが老朽化している等、施設の状況を市が把握できていない。色々な構想があるが、現状を見ながら進めていただきたい。

委員長 津島市の現状にふれ、日ごろの内容についても追記してもらえると良い。具体的な取組のなかで、いつまでに実施できるかも記載できる所は記入してもらえると良い。SDGsの取り組みとして持続可能な観点を強調している所なので、20年以上を見ている部分もあるが、できるところから追記してもらえると良い。経済的な部分、これをつくるための前提部分についても追記してもらえると良い。

### 3 その他

- ・次回開催日 令和6年11月25日（月）午後2時からを予定。